

* 四月一日(月)及び日に、中居さんへの面会にこうやる場合。
 もしウリニシングができていたら、スボシ、カーディガン、スボローマン
 のさし入れをお預けします。四月八日ころでもいへてくれます。今
 きているのも、すでにかなり汚れています。

* 食物のさし入れは本並に即かります。少し変化をつけて

四月からは、パン(二個)と練乳は中止し、カステラを毎日

代わりに

代えて下さい。

物語の、食物はたんに飢えをさせたというよりは、拘束状態
 のためにまず苦痛を覚悟せよ、やむをえず食物で緩和するといふ
 面をもっているようにです。食事時間、拘束をくずす意味もあります。

* 動物の本は入牛でまきそうじょうから、もう一冊、こんどは二冊
 考古学の本ですが、角川文庫の「デニケンの一連の本」とくに
 未来の記憶が「^{未来}」が及ばば、どちらかをさし入れて下さい。

(とうとう) 題でした。すでによんだことはある。()

9.12
 せいせい



* 伝道(の書)は、私のすきな表現の一つですが、次のよきについて

よく意味が利します。いゝか、ご教示下さい。

・ 中七(キヨ)一四「かれとかれと」難なく語られた

→ 何をさすか?

・ 一ニ(キヨ)四(五)「歌の世たちは皆、低くされる。彼ら

また高い世のを認める。恐ろしいまの道にあり

(「かれとかれ」の形容詞は具体的に何をさすか?)

* ヨブ記もすきですが、世談の中には、ヨブは神とあくまて

抗争すべきである。というのはならず、てしようか? ヨブヤ

友人ヤエリフがオ一(キヨ)の主とサタンのやりとりを知った上

で論議するのころの配り、極めて不公平だと思われたらり

ません。

三A二九日

杉下 昇

成能信生 様



